



## ごあいさつ

現在、我が国では、少子高齢化の進行やA Iをはじめとしたデジタル技術の進展、更には、今般の新型コロナウイルスの影響などにより、人々の価値観や生活環境が急速に変わりつつあります。

こうした変化の激しい時代において、社会・経済の持続的な発展を図っていくためには、教育の果たす役割が大きく、特に、「人生100年時代」を迎えようとする中、誰もが生涯にわたり、あらゆる機会・場所において学び続けることができ、その成果を社会や地域の課題解決等に生かすことができる生涯学習社会の実現に強い期待が寄せられています。

国においても、平成30年に「第3期教育振興基本計画」を策定し、2030年以降の社会を見据えた教育指針を示すとともに、令和2年に公表された「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」において、多様な主体との協働やI C Tの活用による新しい時代の生涯学習の在り方を提示しました。

県では、これまで、平成28年に定めた「愛媛県生涯学習推進計画」に基づき、生涯学習の推進に向けた各種施策を展開してきたところですが、こうした国の動きや社会情勢の変化に対応するため、第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」や「愛媛県教育振興に関する大綱」等の趣旨もふまえつつ、このたび、新たに「愛媛県生涯学習推進計画（第五次）」を策定いたしました。

今後とも、市町や関係機関・団体、学校、企業、地域社会等と連携した「オール愛媛」体制で、本計画の基本目標である「誰もが生涯学ぶ、愛顔あふれる“学び舎えひめ”の創造」に力を注いで参りたいと考えておりますので、一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定に当たり、御協力いただきました関係者の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

令和3年3月

愛媛県知事 中村 時広